

日本産チャテムシ目の目録と検索表*

富田 康弘¹⁾**・芳賀 和夫²⁾***

¹⁾ 筑波大学第二学群生物学類 ²⁾ 筑波大学生物科学系
〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1

A Check-List of Psocoptera (Insecta) from Japan
with Keys for Identification

Yasuhiro TOMITA¹⁾ and Kazuo HAGA²⁾

¹⁾ College of Biological Sciences, University of Tsukuba

²⁾ Institute of Biological Sciences, University of Tsukuba,
Tsukuba, Ibaraki 305, Japan

Synopsis

This list records 95 species of Psocoptera from Japan, in 47 genera and 19 families. Nine species in nine genera of them are yet to be identified. An available distributional information is given on each species. Following two new combinations are proposed:

Stigmatoneura mitsuhashiana (OKAMOTO, 1907) comb. nov.

Lichenomima muscosa (ENDERLEIN, 1906) comb. nov.

A key for three suborders, a key for world families, and keys for Japanese species of respective Japanese families are provided.

Key words: Psocoptera, Japanese fauna, distribution, new combination

Bull. Sugadaira Montane Res. Ctr. No. 12 : 35-54 (1991)

(Sugadaira Montane Research Center, University of Tsukuba)

チャテムシ目 (嚙虫目 PSOCOPTERA) は、ハジラミ目 (食毛目 MALLOPHAGA)、シラミ目 (虱目 ANOPLURA)、カメムシ目 (半翅目 HEMIPTERA)、アザミウマ目 (総翅目 THYSANOPTERA) とともに、系統的に準新翅群 PARANEOPTERA を構成し、その中で最も

* 筑波大学菅平高原実験センター研究業績第 138 号

** 現在の勤務先 奈良県立志貴高等学校 (連絡先は共著者気付)

*** 現在の連絡先 〒112 東京都文京区大塚 3-29-1 筑波大学学校教育部

原的な形態をもつ分類群であり、昆虫の進化を考える上での一つの鍵を握る群であるといえる。しかし、サイズが、体長 0.5 mm 内外という微小なものからやや大きな種でも体長 10 mm 程度で、色彩も目だたないため、研究者が少なく、分類に関してはアルファ段階でなすべき課題が多く残されている。

日本産チャタテムシの研究は、KOLBE が *Psocus japonicus* を記載したことから始まり、ENDERLEIN (1906, 1907) が本格的に手をつけ、ひきつづいて岡本半次郎 (OKAMOTO 1907, 1910) が行った研究が初期のもので、その上に立って、1941 年には松本賢吉が日本産既知種 (10 科 38 属 104 種) の目録を作成した。ただし、これには当時日本の統治領だった台湾と樺太産のチャタテムシも含まれているので、それらを除くと、8 科 24 属 60 種となる。その後、断片的な仕事を除いて研究のブランクがあったが、1960 年代に入ってから、堤 千里による一連の論文 (1961, 1962, 1964 a, 1964 b, 1965)、図鑑、総説が研究の進展を促した。堤はその総説 (1971) の中で、15 科 33 属 66 種を数えている (沖縄県-返還前-を除く)。しかし、堤はその後、研究の方向を変えたため、国内ではチャタテムシの研究者不在の状態となり、他の分類群と比較して大きく進展に遅れがみられることとなっている。

世界的にはこの間、オーストラリア在住の NEW, SMITHERS, THORNTON の 3 人を中心に高次分類が整理される一方、日本のチャタテムシについても知見が増やされ、最近整理された平嶋義宏編日本産昆虫総目録 (1989) には 18 科 41 属 83 種がリスト・アップされている。

われわれは、この目録をベースとして、直接、採集調査した結果と、われわれにもたらされた標本の同定、関連文献のチェックによる追加・訂正をつけ加えるとともに NEW (1987) に従って、科の移動、シノニムの整理を行い、さらに一部の種については所属の再検討による学名の変更を行った。その結果、既知種として 19 科 41 属 86 種を確認し、それに、種名未同定の 9 属種 (うち 6 属は上記以外) を加えた、合計 19 科 47 属 95 種について新たに目録と検索表を作成することにした。

「亜目の検索」は堤 (1971) に、「科の検索」はほとんど NEW (1987) : 58-64 に従い、一部改訂を行った。また、「亜目の検索」に引き続く科名一覧において、科の配列は亜目ごとにアルファベット順とし、「種の検索」における科は分類順 (NEW, 1977) に配列した。

われわれがチャタテムシの研究を始めるに当たって、東京学芸大学の堤千里博士のご好意が得られたことは幸いであり、また、農林水産省農業環境技術研究所昆虫分類研究室の松村雄室長はじめ、室員や嘱託の方々に便宜を図っていただいた。特に、長谷川仁氏のご教示・示唆は価値が大きかった。日本各地の採集品を恵与され、また、激励の声をいただいた方々に対しても、併せて深く感謝したい。

日本産チャタテムシ目リスト

科別に種名をあげ、和名があるものは和名をつけ、知られる産地を [] で示した。産地名は記録の通りとした。種については通し番号をつけたが、種名未詳種は番号外とし、末尾に列挙した。

LEPIDOPSOCIDAE ビロウドチャタテ科

- 01 *Echmepteryx lunulata* THORNTON, LEE et CHUI, 1972 [小笠原父島；ミクロネシア, ハ

ワイ]

- 02 *Echmepteryx madagascariensis* (KOLBE, 1885) [小笠原父島；香港，ハワイ，アフリカ，マダガスカル，北米，南米]

TROGIIDAE コチャタテ科

- 03 *Cerobasis guestfalica* (KOLBE, 1880) [日本；汎世界]
 04 *Lepinotus inquilinus* HEYDEN, 1850 オオツヤコチャタテ [日本；汎世界]
 05 *Lepinotus reticulatus* ENDERLEIN, 1905 ツヤコチャタテ [日本；汎世界]
 06 *Trogium pulsatorium* (LINNAEUS, 1758) コチャタテ [日本；汎世界]

PSYLLIPSOCIDAE セマガリチャタテ科

- 07 *Psyllipsocus sauteri* (ENDERLEIN, 1906) セマガリチャタテ [本州；台湾]

AMPHIENTOMIDAE ウロコチャタテ科

- 08 *Paramphientomum yumyum* ENDERLEIN, 1907 ウロコチャタテ [本州，九州；台湾]
 09 *Stimulopalpus japonicus* ENDERLEIN, 1906 オオウロコチャタテ [本州，四国，九州]

LIPOSCELIDAE コナチャタテ科

- 10 *Liposcelis bostrychophilus* BADONNEL, 1931 ヒラタチャタテ [日本；汎世界]
 11 *Liposcelis corrosens* (HEYMONS, 1909) ウスグロチャタテ [本州；イギリス，チリ]
 12 *Liposcelis divinatorius* (MÜLLER, 1775) コナチャタテ [日本；汎世界]
 13 *Liposcelis entomophilus* (ENDERLEIN, 1907) カツブシチャタテ [日本；汎世界]
 14 *Liposcelis kidderi* (HAGEN, 1883) [日本；イギリス，フランス]
 15 *Liposcelis simulans* BROADHEAD, 1950 ソウメンチャタテ [本州；イギリス]

PACHYTROCTIDAE フトチャタテ科

- 16 *Tapinella africana* BADONNEL, 1948 トガリチャタテ [日本；コンゴ]

EPIPSOCIDAE ケチャタテモドキ科

- 17 *Epipsocus fasciicornis* OKAMOTO, 1910 ケチャタテモドキ [本州]

CAECILIIDAE ケチャタテ科

- 18 *Caecilius badiostigma* OKAMOTO, 1910 トビモンケチャタテ [本州，九州]
 19 *Caecilius flavidorsalis* OKAMOTO, 1910 [本州，九州；台湾]
 20 *Caecilius gonostigma* ENDERLEIN, 1906 ベニモンケチャタテ [北海道，本州，九州；台湾]
 21 *Caecilius gracilis* OKAMOTO, 1910 [北海道]
 22 *Caecilius japanus* EUDERLEIN, 1906 キイロミチャタテ [北海道，本州；台湾]
 23 *Caecilius kamakurensis* OKAMOTO, 1910 [本州]
 24 *Caecilius luteovenosus* OKAMOTO, 1910 [本州]

- 25 *Caecilius nigricornis* OKAMOTO, 1910 [本州]
 26 *Caecilius novoguineensis* ENDERLEIN, 1903 [小笠原父島；カロリン, ニューギニア]
 27 *Caecilius oyamai* ENDERLEIN, 1906 キモンケチャタテ [北海道, 本州, 九州, 奄美大島；台湾]
 28 *Caecilius scriptus* ENDERLEIN, 1906 [本州]
 29 *Caecilius stigmatus* OKAMOTO, 1910 [北海道, 本州；台湾]
 30 *Coryphosmilla dolobrata* (HAGEN, 1858) [西表島；台湾, セイロン]
 31 *Dypsocus coleoptratus* (HAGEN, 1858) ヒロズチャタテ [奄美大島；ジャワ, セイロン]
 32 *Mepleres suzukii* (OKAMOTO, 1910) ナガケチャタテ [本州]

STENOPSOCIDAE ホソチャタテ科

- 33 *Graphopsocus cruciatus* (LINNAEUS, 1768) ヨツモンホソチャタテ [北海道, 本州, 九州；欧州, 北米]
 34 *Kodamaius brevicornis* OKAMOTO, 1907 ホソヒゲチャタテ [本州；台湾]
 35 *Stenopsocus aphidiformis* ENDERLEIN, 1906 ホソチャタテ [北海道, 本州, 九州；台湾]
 36 *Stenopsocus niger* ENDERLEIN, 1906 クロホソチャタテ [北海道, 本州]
 37 *Stenopsocus nigricellus* OKAMOTO, 1907 ヒメクロホソチャタテ [本州]
 38 *Stenopsocus pygmaeus* ENDERLEIN, 1906 スカシホソチャタテ [北海道, 本州, 九州]
 39 *Taeniosigma ingens* ENDERLEIN, 1903 マダラヒゲナガチャタテ [日本；台湾, 中国]

AMPHIPSOCIDAE ケブカチャタテ科

- 40 *Amphipsocus rubrostigma* OKAMOTO, 1910 ウスベニチャタテ [本州, 九州]
 41 *Dasypsocus japonicus* ENDERLEIN, 1906 フトケチャタテ [本州, 九州]
 42 *Kolbea fusconervosa* ENDERLEIN, 1906 クロミヤクケチャタテ [北海道, 本州；台湾]
 43 *Kolbea kagoshimensis* OKAMOTO, 1910 [九州]
 44 *Matsumuraiella radiopicta* ENDERLEIN, 1906 ハグルマチャタテ [北海道, 本州, 九州]

LACHESILLIDAE ヒメチャタテ科

- 45 *Lachesilla pedicularia* (LINNAEUS, 1758) ヒメチャタテ [北海道, 本州, 四国, 沖縄島, 宮古島, 西表島；台湾, 汎世界]

PERIPSOCIDAE マドチャタテ科

- 46 *Peripsocus didymus* ROESLER, 1939 [本州；ヨーロッパ]
 47 *Peripsocus ignis* OKAMOTO, 1910 マドチャタテ [北海道, 本州；サラワク]
 48 *Peripsocus pauliani* BADONNEL, 1949 [硫黄島；香港, フィリピン, マレー, ミクロネシア, アフリカ]
 49 *Peripsocus pumilis* ENDERLEIN, 1907 クロヒメマドチャタテ [本州]
 50 *Peripsocus quercicola* ENDERLEIN, 1906 ヒメマドチャタテ [本州, 九州；台湾, 香港]

ECTOPSOCIDAE ウスイロチャタテ科

- 51 *Ectopsocopsis cryptomeriae* (ENDERLEIN, 1907) クリイロチャタテ [本州, 九州, 奄美大島; 台湾, 香港, ミクロネシア, ハワイ, 北米]
 52 *Ectopsocus boharti* THORNTON et WONG, 1968 [小笠原父島]
 53 *Ectopsocus briggsi* McLACHLAN, 1899 [本; 汎世界] (日本産新記録)
 54 *Ectopsocus flaviceps* (OKAMOTO, 1910) [北海道]
 55 *Ectopsocus maindroni* BADONNEL, 1935 [本州, 九州, 沖縄島; 香港, 汎世界]
 56 *Ectopsocus meridionalis* RIBAGA, 1904 [本州, 九州; 汎世界]
 57 *Ectopsocus ornatoides* THORNTON et WONG, 1968 [小笠原父島; マリアナ, マーシャル, サモア, フィジー, ハワイ]
 58 *Ectopsocus pumilis* (BANKS, 1920) [本州; 香港, 汎世界] (日本産新記録)

HEMIPSOCIDAE スカシチャタテ科

- 59 *Hemipsocus chloroticus* (HAGEN, 1858) スカシチャタテ [本州, 四国, 九州, 奄美大島; 台湾, 東南アジア]

PSEUDOCAECILIIDAE ニセケチャタテ科

- 60 *Pseudocaecilius criniger* (PERKINS, 1899) [小笠原父島; 汎熱帯]
 61 *Pseudocaecilius maculosus* ENDERLEIN, 1907 マダラニセケチャタテ [本州]
 62 *Pseudocaecilius solocipennis* ENDERLEIN, 1907 ニセケチャタテ [本州]

PHILOTARSIDAE クロフチャタテ科

- 63 *Haplophallus boninensis* THORNTON, LEE et CHUI, 1972 [小笠原, 硫黄島]

MESOPSOCIDAE マルチャタテ科

- 64 *Mesopsocus unipunctatus* (MÜLLER, 1764) マルチャタテ [北海道, 本州, 九州; 欧州, 北米]

PSOCIDAE チャタテ科

- 65 *Amphigerontia jezoensis* OKAMOTO, 1907 ジョウザンチャタテ [北海道, 本州, 琉球; 台湾]
 66 *Blaste obtusa* (HAGEN, 1858) ハーモンチャタテ [本州; シンガポール, スリランカ]
 67 *Copostigma hyalinum* OKAMOTO, 1907 タイワンスカシチャタテ [日本; 台湾]
 68 *Copostigma subcostalis* OKAMOTO, 1907 フタモンチャタテ [日本; 台湾]
 69 *Metylophorus nebulosus* (STEPHENS, 1836) カバイロチャタテ [北海道, 本州, 九州; 台湾, 欧州, インド]
 70 *Psococera kurokiana* (ENDERLEIN, 1906) オオスジチャタテ [北海道, 本州, 九州]
 71 *Psococera mali* (OKAMOTO, 1907) リンゴチャタテ [北海道, 本州; 樺太]
 72 *Psococera nubila* (ENDERLEIN, 1906) オオチャタテ [北海道, 本州, 四国, 九州]
 73 *Psococera ryukyuensis* TSUTSUMI, 1964 リュウキュウフタスジチャタテ [沖縄島, 石垣島, 西表島]

- 74 *Psococerastis tokyoensis* (ENDERLEIN, 1906) スジチャタテ [北海道, 本州, 九州; 台湾]
 75 *Psococerastis yuwan* TSUTSUMI, 1964 フトスジチャタテ [奄美大島]
 76 *Psocidus japonicus* (KOLBE, 1882) ヒゲナガチャタテ [日本]
 77 *Psocidus pellucidus* (OKAMOTO, 1907) ムモンチャタテ [北海道, 本州]
 78 *Psocidus takeokanus* (OKAMOTO, 1907) セグロチャタテ [本州]
 79 *Ptycta micromaculata* THORNTON, LEE et CHUI, 1972 [小笠原父島]
 80 *Ptycta parvidentata* TSUTSUMI, 1964 ノコギリチャタテ [石垣島]
 81 *Sigmatoneura kolbei* (ENDERLEIN, 1906) クロミヤクチャタテ [北海道, 本州, 九州; 台湾]
 82 *Sigmatoneura mitsuhashiana* (OKAMOTO, 1907) **comb. nov.** オオヒゲナガチャタテ [北海道] (*Psocidus* 属に入れられていたが, 本属に移すのが適当と思われる)
 83 *Trichadenotecnum sexpunctatum* (LINNAEUS, 1761) ムツテンチャタテ [北海道, 本州, 四国, 九州, 奄美大島; 台湾, 欧州, 北米]
 84 *Trichadenotecnum sexpunctellum* (ENDERLEIN, 1907) ヒメムツテンチャタテ [本州]

MYOPSOCIDAE ホシチャタテ科

- 85 *Lichenomima muscosa* (ENDERLEIN, 1906) **comb. nov.** ホシチャタテ [本州, 九州; フィジー]
 (MOCKFORD (1982)による *Myopsocus* 属と *Lichenomima* 属の再定義に従った)
 86 *Lophopterygella camelina* ENDERLEIN, 1907 [日本; 台湾, 東南アジア]

以上日本産 19 科 41 属 86 種のほか, 種名不詳の 2 種 (01, 06) が従来から記録されており, また, 今回の調査で種名未同定の 7 種 (02, 03, 04, 05, 07, 08, 09) が新たに採集されている。

LEPIDOPSOCIDAE ビロウドチャタテ科

- 01 *Nepticulomima* sp. [奄美大島]

CAECILIIDAE ケチャタテ科

- 02 *Isophanes* sp. [屋久島]

ECTOPSOCIDAE ウスイロチャタテ科

- 03 *Ectopsocus* sp. [本州]

PSEUDOCAECILIIDAE ニセケチャタテ科

- 04 *Ophiodopelma* sp. [本州]
 05 *Heterocaecilius* sp. [屋久島]

PHILOTARSIDAE クロフチャタテ科

- 06 *Aaroniella* sp. [本州, 奄美大島]
 07 *Haplophallus* sp. [奄美大島]

MESOPSOCIDAE マルチャタテ科

08 *Mesopsocus* sp. [本州] (1988年に*Mesopsocus*に整理される以前の*Labocoria*)

MYOPSOCIDAE ホシチャタテ科

09 *Myopsocus* sp. [本州] (本属と思われるがやや疑問がある)

亜目の検索

チャタテムシ目は3亜目に分けられる。各亜目への検索を掲げ、それぞれに含まれる科名をアルファベット順に羅列した。なお、この科名リストには日本未記録の科も含めてある。

- 1 触角は20~50節、二次的環条溝はない。下唇鬚は2節。舌の硬糸は左右癒合しない。
成虫の跗節は3節TROGIOMORPHA コチャタテ亜目
- 2 触角は11~17節、通常15節。この一部に二次的環条溝を持つ。下唇鬚は1節または2節。舌の硬糸は先端でのみ分離する。成虫の跗節は3節
.....TROCTOMORPHA コナチャタテ亜目
- 3 触角は13節、稀に少ないものもある。二次的環条溝はない。下唇鬚は1または2節。
舌の硬糸は基部で融合する。成虫の跗節は2または3節 PSOCOMORPHA チャタテ亜目

各亜目に含まれる科名

TROGIOMORPHA コチャタテ亜目

LEPIDOPSOCIDAE ビロウドチャタテ科, PRIONOGLARIDAE, PSOQUILLIDAE,
PSYLLIPSOCIDAE セマガリチャタテ科, TROGIIDAE コチャタテ科

TROCTOMORPHA コナチャタテ亜目

AMPHIENTOMIDAE ウロコチャタテ科, COMPSOCIDAE, LIPOSCOLIDAE コナ
チャタテ科, MANICAPSOCIDAE, MUSAPSOCIDAE, PACHYTROCTIDAE フト
チャタテ科, SPHAEROPSOCIDAE, TROCTOPSOCIDAE

PSOCOMORPHA チャタテ亜目

AMPHIPSOCIDAE(POLYPSOCIDAEを含む)ケブカチャタテ科, ARCHIPSOCIDAE,
ASIOPSOCIDAE, CAECILIIDAE ケチャタテ科, CALOPSOCIDAE, DOLABELLOP-
SOCIDAE, ECTOPSOCIDAE ウスイロチャタテ科, ELIPSOCIDAE, EIPSOCIDAE
ケチャタテモドキ科, HEMIPSOCIDAE スカシチャタテ科, LACHESILLIDAE ヒメ
チャタテ科, MESOPSOCIDAE マルチャタテ科, MYOPSOCIDAE ホシチャタテ科,
NEUROSTIGMATIDAE, PERIPSOCIDAE マドチャタテ科, PHILOTARSIDAE ク
ロフチャタテ科, PSEUDOCAECILIIDAE ニセチャタテ科, PSIOPSOCIDAE,
PSOCIDAE チャタテ科, PSOCULIDAE, PTILONEURIDAE, SPUROSTIG-
MATIDAE, STENOPSOCIDAE ホソチャタテ科, TRICHOPSOCIDAE

科の検索

- 1 成虫は長翅型..... 2

— 成虫は短翅型, または無翅型	43
2 附節は2節	3
— 附節は3節	26
3 爪の先端近くに歯 (subapical tooth) を持つ	4
— 爪の先端近くに歯を持たない	19
4 前翅は翅膜上に密に毛を持ち, その翅脈は (特に先半分で) 次第にかすれていき消失する	ARCHIPSOCIDAE
— 前翅の翅脈相は完全。翅膜上の毛 (持つ場合) は生える範囲に限られるか, または疎らに生える	5
5 前翅の縁紋後方に二次的な網目脈を持つ	CALOPSOCIDAE
— 前翅はこのような二次的な網目脈を持たない	6
6 前翅に後小室 (areola postica) を欠く	7
— 前翅に後小室がある	8
7 前翅は完全に無毛, あるいは, もし翅脈に毛があったとしても後翅の翅縁は無毛	マドチャタテ科 PERIPSOCIDAE
— 翅はふつう翅脈上に毛を持つ。後翅の翅縁は径脈叉部分に毛を持つ	ELIPSOCIDAE
8 後小室は中脈と結合する	9
— 後小室は中脈と結合しない	10
9 後小室は横脈で中脈と結合する。前翅の中脈は2分枝を持つ	HEMIPSOCIDAE スカシチャタテ科
— 後小室と中脈は部分的に融合する。前翅の中脈は3分枝を持つ	PSOCIDAE チャタテ科
10 頭部は細長い。上唇は縦に1対の隆起条 (longitudinal ridges) を持つ	11
— 頭部はめだって細長くはない。上唇は不明瞭な隆起条を持つか, またはそれを欠く	14
11 前翅は1本の肛脈を持つ	12
— 前翅は2本の肛脈を持つ	13
12 縁紋は横脈を持つ。Cula 脈と Culb 脈は分離する	NEUROSTIGMATIDAE
— 縁紋は横脈を持たない。Cula 脈と Culb 脈は結合する	EPIPSOCIDAE ケチャタテモドキ科
13 縁紋の後方の角に刺脈 (spur vein) を持つ, または短い刺を持った他の翅脈を持つ	SPUROSIGMATIDAE
— 刺脈は持たない	DOLABELLOPSOCIDAE
14 翅脈には明瞭に2列の毛を生じる	15
— 翅脈は無毛, またはあっても毛は疎ら	16
15 後翅周縁全体に毛を生じる	PSEUDOCAECILIIDAE ニセケチャタテ科
— 後翅の縁毛は径脈叉部分に限られる	ELIPSOCIDAE
16 後翅の径脈叉部分に縁毛を持つ	ELIPSOCIDAE
— 後翅は縁毛を持たない	17
17 前翅は2本の肛脈を持つ。後小室は幅が狭く細長い	MUSAPSOCIDAE
— 前翅は1本の肛脈を持つ。後小室は上記の様ではない	18
18 雄の把握板 (hypandrium) は単純。雌の生殖突起 (gonapophysis) は完全	PSOCULIDAE

- 雄の把握板はふつう側方に付属硬片 (accessory sclerites) を持つ。雌の生殖突起は背弁が退化し、1 対の側弁のみからなる ……LACHESILLIDAE ヒメチャタテ科
- 19 前翅先端の翅脈は次第にかすれ消失する ……ARCHIPSOCIDAE
- 前翅先端の翅脈は完全 ……20
- 20 後小室を持たない ……ECTOPSOCIDAE ウスイロチャタテ科
- 後小室を持つ ……21
- 21 後小室は中脈と結合する ……STENOPSOCIDAE ホソチャタテ科
- 後小室は遊離する ……22
- 22 後翅後縁の縁毛は交互に長くなったり短くなったりする ……TRICHOPSOCIDAE
- 後翅後縁の縁毛 (まれに欠く) は全てほぼ同じ長さ ……23
- 23 雌の生殖突起は完全で、側弁は大きく、毛を持つ。雄の把握板はかなり硬化し、陰茎体 (phallosome) 内にしばしば歯舌様棒状硬片 (radular rod sclerites) を持つ ……PSEUDOCAECILIIDAE ニセケチャタテ科
- 雌の生殖突起は退化し、側弁は小さな突起状になり、無毛または 1, 2 本の毛が生えるのみ。雄の把握板はあまり硬化せず、陰茎体内に歯舌様棒状硬片を持たない ……24
- 24 爪間板 (pulvillus) は幅広い ……25
- 爪間板は細長い ……ASIOPSOCIDAE
- 25 前翅の翅脈は 1 列に毛を生じる ……CAECILIIDAE ケチャタテ科
- 前翅の翅脈は 2 列に毛を生じる ……AMPHIPSOCIDAE ケブカチャタテ科
- 前翅の翅脈は無毛 ……AMPHIPSOCIDAE (*Ptenopsila*)
- 26 体と翅は鱗片を装う ……27
- 体と翅は鱗片を装わない ……28
- 27 触角は多数 (20~50) の短い節よりなる。肛側板上に肛門突起 (anal spine) を持つ ……LEPIDOPSOCIDAE ビロウドチャタテ科
- 触角は 13 または 15 節。肛側板上に肛門突起は持たない ……AMPHIENTOMIDAE ウロコチャタテ科
- 28 前翅の翅脈相は、2 本の縦脈 (部分的にかすれて消失) のみに退化する ……LIPOSCELIDAE コナチャタテ科
- 前翅の翅脈相はより複雑 ……29
- 29 縁紋は肥厚する ……30
- 縁紋は肥厚しない ……37
- 30 頭部は細長い。上唇は縦に 1 対の隆起条を持つ ……31
- 頭部は細長くない。上唇は隆起条を持たない ……32
- 31 前翅に小さな刺脈を持つ翅脈がある ……SPUROSIGMATIDAE
- 前翅の翅脈は刺脈を持たない ……PTILONEURIDAE
- 32 後小室は中脈と結合する ……33
- 後小室は遊離する ……34
- 33 前翅の翅脈は無毛 ……MYOPSOCIDAE ホシチャタテ科
- 前翅の翅脈は少なくとも疎らに毛を持つ ……ELIPSOCIDAE
- 34 後小室は細長い。Cula 脈と Culb 脈は翅縁のかなり手前で分離する ……PSILOPSOCIDAE

- 後小室は上記の様ではない。Cu1a 脈と Culb 脈は翅縁近くで分離する35
- 35 翅脈及び翅縁は無毛MESOPSOCIDAE マルチャタテ科
- 翅脈及び翅縁は少なくとも疎らに毛が生える36
- 36 後翅の縁毛は（もし存在する場合）径脈叉部分に限られるELIPSOCIDAE
- 後翅の縁毛はより広範囲にわたって生えるPHILOTARSIDAE クロフチャタテ科
- 37 小結節 (nodulus) を持つ38
- 小結節を持たない42
- 38 前翅は第 2 肛脈を持つ39
- 前翅は第 2 肛脈を持たない41
- 39 後翅の中脈は分枝するCOMPSOCIDAE
- 後翅の中脈は単純40
- 40 雌の生殖突起の側弁は 2 葉状。亜生殖板内部に T 形骨片を持たない。爪の先端近くに 1 個の歯を持つMANICAPSOCIDAE
- 雌の生殖突起の側弁はわずかに切れ込む。亜生殖板内部に T 形骨片を持つ。爪の先端近くに 2 個の歯を持つ、または各肢の 2 つの爪は非相称で、前爪は毛の生えた僧帽状の突起 (cowl) を持ち、後爪はその基部近くに 1 本の曲がった長い毛が生えるTROCTOPSOCIDAE
- 41 成虫は正常な内葉を持つPSYLLIPSOCIDAE セマガリチャタテ科
- 成虫は内葉を持たないPRIONOGLARIDAE
- 42 小顎鬚第 2 節の内側に円錐形の感覚器を持つ。触角鞭節に二次的環条溝を持たない。爪の先端近くに歯を持たないPSOQUILLIDAE
- 小顎鬚第 2 節の内側に円錐形の感覚器を持たない。触角鞭節に二次的環条溝を持つ。爪の先端近くに歯を持つPACHYTROCTIDAE フトチャタテ科
- 43 跗節は 2 節44
- 跗節は 3 節66
- 44 爪間板は幅広い45
- 爪間板は細長い49
- 45 成虫は無翅型46
- 成虫は短翅型47
- 46 爪の先端近くに歯を持つELIPSOCIDAE
- 爪の先端近くに歯を持たないAMPHIPSOCIDAE
(CAECILIIDAE, ECTOPSOCIDAE の限られたものも含まれる可能性あり)
- 47 爪の先端近くに歯を持つELIPSOCIDAE
- 爪の先端近くに歯を持たない48
- 48 後小室は遊離するCAECILIIDAE ケチャタテ科
- 後小室は中脈と横脈で結合するSTENOPSOCIDAE ホソチャタテ科
- 後小室を持たないECTOPSOCIDAE ウスイロチャタテ科
- 49 頭部は細長い。上唇は縦に 1 対の隆起条を持つEIPSOCIDAE ケチャタテモドキ科
- 頭部は細長くない。上唇は隆起条を持たない50
- 50 成虫は短翅型51

- 成虫は無翅型62
- 51 翅は明瞭な翅脈相を持たない52
- 翅に明瞭な翅脈相を持つ53
- 52 翅は無毛, または疎らに毛が生えるELIPSOCIDAE
- 翅に毛が密生するARCHIPSOCIDAE
- 53 前翅の翅膜上に短い毛が密生するARCHIPSOCIDAE
- 前翅の翅膜上に毛は生えない54
- 54 前翅は無毛55
- 前翅は翅脈に沿って毛が生える57
- 55 後小室を持たないPERIPSOCIDAE マドチャタテ科
- 後小室を持つ56
- 56 後小室を遊離するLACHESILLIDAE ヒメチャタテ科
- 後小室は中脈と結合するPSOCIDAE チャタテ科
- 57 後小室を持たない58
- 後小室を持つ59
- 58 雌の生殖突起の背弁は比較的細長く, 先端は二股になる。側弁は大きくて毛を持つ。
雄の陰茎体内に歯舌様棒状硬片を持たないELIPSOCIDAE
- 雌の生殖突起の背弁は幅広く, その先端は二股にならない。側弁は比較的小さい。雄
の陰茎体内に歯舌様棒状硬片を持つPERIPSOCIDAE マドチャタテ科
- 59 後小室は中脈と結合する60
- 後小室は遊離する61
- 60 後小室は横脈で中脈と結合する。前翅の翅脈は明瞭な毛を持つ.....
.....HEMIPSOCIDAE スカシチャタテ科
- 後小室と中脈は部分的に融合する。前翅前方の翅脈にのみ数本の微少な毛を持つ
.....PSOCIDAE チャタテ科
- 61 翅脈上の毛は非常に疎らELIPSOCIDAE
- 翅脈上の毛は多数存在PSEUDOCAECILIIDAE ニセケチャタテ科
- 62 雄の陰茎体は退化した単純な形の外陰茎側片 (outer paramere) を持ち, その内側に
硬片を持たない。雄の生殖突起は欠如, または大きな太い毛が生えただけの側弁と痕
跡状の背弁を持った, 退化したものとなるARCHIPSOCIDAE
- 雄の陰茎体は明瞭な閉じた形の外陰茎側片を持ち, その内側には少なくともしわの
よった硬片の痕跡を持つ。雌の生殖突起は完全, またはその側弁が1本の毛を持った
小さな葉に退化する63
- 63 雄であるELIPSOCIDAE
- 雌である64
- 64 生殖突起は著しく退化する。その側弁は小さな葉になり, 時に1本の毛を持つ。爪の
先端近くに歯を持たないASIOPSOCIDAE
- 生殖突起は完全。爪の先端近くに歯を持つ65
- 65 生殖突起の側弁と背弁は先端に突出部を持つ。肛側板は長さよりも幅の方が大き..
.....PSOCULIDAE

- 生殖突起は先端に突出部を持たない。肛側板は幅よりも長さの方が大きい……………ELIPSOCIDAE
- 66 体と翅（もし存在すれば）は鱗片を装う……………27
- 体と翅（もし存在すれば）は鱗片を装わない……………67
- 67 成虫は無翅型……………68
- 成虫は短翅型……………74
- 68 爪の先端近くに歯を持たない……………69
- 爪の先端近くに歯を持つ……………70
- 69 小顎鬚第2節の内側に円錐形の感覚器を持つ……………TROGIIDAE コチャタテ科
- 小顎鬚にはこのような円錐形の感覚器は持たない……………PSOQUILLIDAE
- 70 肛側板上に肛門突起を持つ……………PSYLLIPSOCIDAE セマガリチャタテ科
- 肛側板上に肛門突起は持たない……………71
- 71 体は著しく背腹に偏平。口器は前口式。後肢の腿節はかなり幅広くなる……………LIPOSCELIDAE コナチャタテ科
- 体は著しく偏平ではない。口器は下口式。後肢の腿節は著しく幅広くはならない……………72
- 72 触角は15節。鞭節の一部に二次的環条溝を持つ PACHYTROCTIDAE フトチャタテ科
- 触角は13節。鞭節に二次的環条溝は持たない……………73
- 73 触角は短く、腹部の前部にまで達しない（小型種、約2.5 mm かそれ以下）……………ELIPSOCIDAE
- 触角は長く、ふつう体長とほぼ同長。（より大型種、3.5 mm 以上）……………MESOPSOCIDAE マルチャタテ科
- 74 翅は翅鞘状は分厚く、不透明……………75
- 翅はそれほど分厚くなく、半透明……………77
- 75 翅脈相を持つ……………TROGIIDAE コチャタテ科
- 翅脈相を持たない……………76
- 76 翅脈相は縦脈のみ……………SPHAEROPSOCIDAE
- 翅脈相は多くの網目状の横脈を持つ……………TROCTOPSOCIDAE
- 77 翅脈相は縦脈のみ……………MANICAPSOCIDAE
- 翅脈相はより完全……………78
- 78 肛側板上に肛門突起を持つ……………79
- 肛側板上に肛門突起を持たない……………80
- 79 爪の先端近くに歯を持つ。前翅に小結節を持つ PSYLLIPSOCIDAE セマガリチャタテ科
- 爪の先端近くに歯を持たない。前翅に小結節を持たない……………PSOQUILLIDAE
- 80 触角は15節。鞭節の一部に二次的環条溝を持つ。縁紋は肥厚する……………PACHYTROCTIDAE フトチャタテ科
- 触角は13節。鞭節は二次的環条溝は持たない。縁紋は少なくともわずかに肥厚する……………81
- 81 後翅の翅縁は無毛、または非常に疎らに毛が生え、それも径脈叉部分に限られる……………ELIPSOCIDAE
- 後翅の周縁には密に毛が生える……………PHILOTARSIDAE クロフチャタテ科

種の検索

未同定種をふくめて、科別に検索表を作成した。種名は命名者名と年号を除いた学名のみとし、和名は省略した（命名者名と年号、和名は種名リスト参照）。1科1種の場合はやや詳しく特徴を掲げた。また、簡単な検索では同定が難しい LIPOSCELIDAE コナチャタテ科については、多田（1956, 1959, 1962）に従って各種について詳しく特徴を挙げ、同定の便を図った。

LEPIDOPSOCIDAE ビロウドチャタテ科

各種とも体長約 1.5~2.0 mm の小型種

- 1 触角は 30 節以下。各節の長さは幅の約 4 倍 *Nepticulomima* sp.
- 触角は 30 節以上。各節の長さは幅の約 2 倍 2
- 2 前翅に長さ方向の色帯を持つ *Echmepteryx madagascariensis*
- 前翅に長さ方向の色帯を持たない *Echmepteryx lunulata*

TROGIIDAE コチャタテ科

- 1 小顎鬚第 4 節は細長く、長さは幅の 2 倍以上 2
- 小顎鬚第 4 節は幅広く、長さは幅のほぼ 2 倍 3
- 2 前翅全面に細かい網目模様を持つ。触角は 22 節。体長は 1.3 mm 内外
..... *Lepinotus reticulatus*
- 前翅全面に細かい網目模様は持たない。触角は 23~29 節。体長は 1.5 mm 内外
..... *Lepinotus inquilinus*
- 3 触角は 27~29 節。前額部に錨型の紋を持たない。主として屋内に生息。体長は 2.0 mm
内外 *Trogium pulsatorium*
- 触角は約 23 節。前額部に錨型の紋を持つ。主として屋外に生息。体長は 2.0 mm 内外
..... *Cerobasis guestfalica*

PSYLLIPSOCIDAE セマガリチャタテ科

- 1 頭部は淡黄白色でほとんど無地、細長く体軸に直角につく。複眼はあまり大きくなく、単眼は非常に小さく不明瞭。腹部両側に多数のかなり小さい赤褐色の斑点を持つ。翅は透明。翅脈と翅縁は淡褐色で毛を生じる。前翅長は約 1.7 mm *Psillipsocus sauteri*

AMPHIENTOMIDAE ウロコチャタテ科

- 1 爪の先端近くに 1 個の歯を持つ。頭頂に 1 対の淡黄褐色の円斑を持つ。前翅長は約 3.6 mm *Stimulopalpus japonicus*
- 爪の先端近くに 2 個の歯を持つ。前翅の鱗片は黄褐色味が強い。前翅長は約 2.5 mm
..... *Paramphientomum yumyum*

LIPOSCELIDAE コナチャタテ科

- 1 体の背面は鈍褐色、頭は帯赤褐色で時に暗赤褐色の小さな斑点を散在する。上唇は更に赤味が強い。小顎鬚、触角、肢は明るい褐色。大きな特徴として腹部第 3 節から 7 節

- 迄と第8節側方の各後縁（各節幅の約1/3強）が明るい褐色を呈し、第3節から8節迄の各前縁には細かい暗褐色の節間膜がある。また第1節と2節はそれぞれ5, 3域に区分され、それらの境界線も明るい褐色である。体の腹面は艶があり帯灰褐色、頭部は稍赤味を帯びる。雌が処女生殖を行う。雄は見られない。複眼は7個の小眼から成る。触角第3節の環状隆起数は11~18。体長1.0~1.3 mm *Liposcelis bostrychophilus*
- 2 体の背面は鈍褐色、頭は帯赤褐色で上唇は更に赤味が強い。小顎鬚、触角、肢は明るく、眼は黒い。腹部第3~7節迄と第8節側方の各後縁（各節幅の約1/3）が明るい褐色を呈し、第3~8節迄の各前縁には細かい暗褐色の節間膜がある。第1, 2節はそれぞれ5, 2域に区分され、それらの境界線も明るい褐色。個体により頭部及び胸部腹面に暗赤色の微粒斑点を散在する。複眼は雌は5~8（平均7）個の個眼から成り、雄は5（まれに4）個からなる。触角第3節の環状隆起数は13~19。体長は雌で1.0~1.2 mm, 雄で0.7~0.9 mm. *L. subfuscus* Broadhead, 1947 はシノニム *Liposcelis corrodens*
- 3 体の背面はやや光沢のある淡黄褐色で、触角と肢は僅かに暗い。上唇は赤味を帯び、眼は黒色。小顎鬚、節は無色。腹部第3, 4節の後縁及び6~9節の各前縁に、いずれも腹節の約1/2~1/3幅の赤褐色横帯が顕著に彩色され、第5節はこれを欠く（この帯は中央部が切断されるか或いは薄い）。また頭部の両側縁部、触角、小顎鬚、前胸及び中、後胸背板の両側縁部、腹部の赤褐色横帯上に比較的多数の赤色斑点を散在する。複眼は7~8個の小眼から成る。触角第3節の環状隆起数は16~25。体長は雌1.3~1.5 mm, 雄0.8~1.0 mm *Liposcelis entomophilus*
- 4 体の側面は鈍褐色。頭は後部がやや暗く、前額部は胸腹部よりも黄色味を帯びる。額片は更に赤味が強い。目は黒色、触角は無色、肢は腹部と変わらない。赤褐色の斑点は小顎鬚の先端節、触角第2節の上部、頭部及び胸部に不規則に散在し、個体により腹部第1~5節の側縁部にも疎に認められる。大きな特徴として腹部第5~7節までと8節側方の各後縁（各節幅の約1/3強）が明るく横帯模様を呈す。第3, 4節にはこれを欠き、4, 5節の前縁中央部に暗褐色細横線が認められる。また第1節と2節はそれぞれ2域に区分され、それらの境界線も明るい。体の腹面は艶があり背面よりやや明るく、口部は赤味を帯びる。色斑の微粒は頭部、胸部腹板、亜生殖板に疎に散在する。体長は0.9~1.2 mm, 雄0.7~0.9 mm *Liposcelis kidderi*
- 5 色彩は前種に同じ。体長は雌1.1~1.3 mm, 雄1.0 mm 内外。前種の複眼が4~6個の個眼から成るのに対し、本種は7個より成る。また触角第3節の環状隆起数が前種は11~22であるのに対し、本種では21~29であることなどが異なっている *Liposcelis simulans*
- 6 原記載からは同定不能で、他種との関係も不明 *Liposcelis divinatorius*

PACHYTROCTIDAE フトチャタテ科

- 1 雄は全て無翅。雌は通常長翅型であるが、短翅型、微翅型のものも時に現れる。長翅型のものは褐色味が強く、雄や短翅型のものでは淡色化する。前翅は淡灰褐色、翅脈は灰褐色。後翅は淡い。体長1.0~1.5 mm *Tapinella africana*
 なお、本種の日本での記録は貯蔵食品中からのものである。

EPIPSOCIDAE ケチャタテモドキ科

- 1 頭部は黄褐色, これに褐色の長毛を密生する。触角は灰色。胸部は灰褐色。腹部は黄褐色。脚は淡黄褐色。翅は透明, 縁紋の先半分及び径脈の分岐点に淡褐色紋があり, 中室は淡褐色を呈する。翅脈は黄色。前翅長 3.0 mm *Epipsocus fasciicornis*

CAECILIIDAE ケチャタテ科

- 1 後小室は中脈と融合する。中脈は 2 分岐する。縁紋の後縁は強く後方に張り出す。前翅の先端部は短縮する *Isophanes* sp. 2
- 後小室は遊離する 2
- 2 中脈は 2 分岐する。前翅長約 2.5 mm *Mepleres suzukii*
- 中脈は 3 分岐する 3
- 3 頭頂部後縁は鋭角を成す 4
- 頭頂部後縁は丸まる 5
- 4 前翅の先端部は短縮し, そのため翅脈は歪む。前翅長約 5.5 mm *Dypsocus coleoptratus*
- 前翅は普通。前翅長約 3.5 mm *Coryphosmilla dolobrata*
- 5 前翅は明瞭な模様を持つ 6
- 前翅は無色, 或いは淡黄色で, 目立った斑紋は持たない 11
- 6 前翅は褐色の後縁を持つ。縁紋に斑紋は持たない。前翅長約 3.7 mm *Caecilius scriptus*
- 前翅は褐色の後縁を持たない 7
- 7 縁紋の後縁は丸まる。前翅長約 2.8 mm *Caecilius nigricornis*
- 縁紋の後縁は鋭角を成す 8
- 8 縁紋は中央部を帯が横切る。前翅長約 3.0 mm *Caecilius oyamai*
- 縁紋は後角の位置に斑紋を持つ 9
- 9 触角は黒褐色。前翅長 2.0~2.7 mm *Caecilius gonostigma*
- 触角は黄褐色 10
- 10 前翅長は 3.0 mm 以上 *Caecilius badiostigma*
- 前翅長は 3.0 mm 以下 *Caecilius stigmatus*
- 11 後小室は小さく, かなり平たい 12
- 後小室は比較的大きい 13
- 12 小顎鬚は赤味がかっており, 端節は淡黄色。翅脈及び翅膜は黄色。前翅長約 2.0 mm *Caecilius novoguineensis*
- 小顎鬚は淡黄褐色で, 端節はやや暗色。翅脈及び翅膜は黄褐色。前翅長約 3.0 mm *Caecilius flavidorsalis*
- 13 縁紋は全体に黄色。前翅長は雄約 2.5 mm, 雌約 3.0 mm *Caecilius yapanus*
- 縁紋は全体に黄色ではない 14
- 14 翅脈は黄色がかかる。前翅長約 3.0 mm *Caecilius luteovenosus*
- 翅脈は褐色 15
- 15 Rs 脈は R 2+3 脈の 2 倍以上の長さ。前翅長約 3.0 mm *Caecilius kamakurensis*
- Rs 脈は R 2+3 脈の約 2 倍の長さ。前翅長約 4.0 mm *Caecilius gracilis*

STENOPSOCIDAE ホソチャタテ科

- 1 縁紋は Rs 脈と横脈で結合しない 2
- 縁紋は Rs 脈と横脈で結合する 3
- 2 Rs 脈と中脈は短く癒合する。後小室と中脈は部分的に融合する前翅長は雄が約 5.5 mm, 雌は約 7.5 mm *Taeniosigma ingens*
- Rs 脈と中脈は短い横脈で結合する。後小室と中脈は横脈で結合する。前翅長は約 3.0 mm *Kodamaius brevicornis*
- 3 後小室と中脈の間の横脈は短い。前翅には目立った斑紋がある。前翅長は約 3.0 mm *Graphopsocus cruciatus*
- 後小室と中脈の間の横脈は長い。前翅には縁紋を除いて目立った斑紋はない 4
- 4 縁紋は黒褐色 5
- 縁紋は後縁部が褐色味を帯びているのみ 6
- 5 縁紋は三角形。前翅長は約 4.0 mm *Stenopsocus nigricellus*
- 縁紋は細長い。前翅長は 5.0~6.0 mm *Stenopsocus niger*
- 6 前翅の Cu 2 脈に毛を持つ。前翅長は 5.0~6.0 mm *Stenopsocus aphidiformis*
- 前翅の Cu 2 脈に毛を持たない。前翅長は 4.0~4.5 mm *Stenopsocus pygmaeus*

PHILOTARSIDAE クロフチャタテ科

- 1 前翅の翅脈の毛は黒褐色の斑点から 1 本ずつ生じる。触角の各鞭節の先端は白い。前翅長約 2.5 mm *Aaroniella* sp.
- 前翅の翅脈の毛は斑点からは生じない。触角の各鞭節の先端は白くならない。前翅長約 2.7 mm *Haplophallus boninensis*

AMPHIPSOCIDAE ケブカチャタテ科

- 1 縁紋は後方に短い横脈を持つ。ただしこの横脈は中脈には達しない。前翅長は 5.0 mm 内外 *Amphipsocus rubrostigma*
- 縁紋は横脈を持たない 2
- 2 前翅は翅膜上に毛を持つ 3
- 前翅は翅膜上に毛を持たない 4
- 3 後小室の頂点は中脈に達する。前翅長は 4.0~4.5 mm *Matsumuraiella radiopicta*
- 後小室の頂点は中脈に達しない。前翅長は 5.0~5.5 mm *Dasypsocus japonicus*
- 4 前翅に斑紋を持たない。前翅長は約 5.0 mm *Kolbea fusconervosa*
- 前翅に斑紋を持つ。前翅長は 3.0~3.5 mm *Kolbea kagosimensis*

LACHESILLIDAE ヒメチャタテ科

- 1 頭胸部は暗褐色。腹部は黄褐色で、各節に褐色の横帯を持つ。触角は暗褐色、基部 2 節と第 3 節は黄褐色。肢は淡黄褐色。翅は透明で、翅脈は暗褐色。後小室はかなり大きい。前翅長は約 2.0 mm *Lachesilla pedicularia*

MESOPSOCIDAE マルチャタテ科

- 1 複眼は柄を持って頭部より突出する。前翅に褐色の斑紋を持つ。前翅長約 4.5 mm (雄)
 *Mesopsocus* sp.
- 複眼は柄を持たない。前翅は縁紋を除いて斑紋は持たない。前翅長 5.0 mm 内外。雌
 は無翅 *Mesopsocus unipunctatus*

ECTOPSOCIDAE ウスイロチャタテ科

各種とも前翅長は 1.3~2.2 mm の小型種である。

- 1 雌の生殖突起は著しく退化する。雄の外部生殖器は腹部背面にまで大きくせり出す
 *Ectopsocopsis cryptomeriae*
- 雌の生殖突起は完全。雄の外部生殖器は腹部末端部のみ 2
- 2 翅は微翅または短翅 *Ectopsocus maindroni*
- 翅は正常 3
- 3 前翅に縁毛を持たない *Ectopsocus ornatoides*
- 前翅に縁毛を持つ 4
- 4 前翅中脈と Rs 脈は長い横脈で結合 *Ectopsocus flaviceps*
- 前翅中脈と Rs 脈は 1 点で合うか短い横脈で結合 5
- 5 後翅に縁毛を持たない 6
- 後翅に縁毛を持つ 7
- 6 肛側板先端部の刺は 1 個 *Ectopsocus pumilis*
- 肛側板先端部の刺は 2 個 *Ectopsocus* sp.
- 7 前翅長は 1.5 mm 以下 8
- 前翅長は 1.7~2.0 mm 9
- 8 後肢第 1 附節の櫛歯は 16 個前後 *Ectopsocus boharti*
- 後肢第 1 附節の櫛歯は 10 個前後 *Ectopsocus maindroni*
- 9 卵巣小管は 6 本 *Ectopsocus meridionalis*
- 卵巣小管は 10 本 *Ectopsocus briggsi*

PERIPSOCIDAE マドチャタテ科

- 1 前翅の先端部に短い縁毛を持つ。Rs 脈は R 2+3 脈の約 2 倍の長さ。前翅長約 2.7
 mm *Peripsocus ignis*
- 前翅は無毛 2
- 2 前翅長は 2.0 mm 以下 *Peripsocus pumilis*
- 前翅長は 2.0 mm 以上 3
- 3 亜生殖板突起は長方形で、その上に一様に短毛を生じる *Peripsocus quercicola*
- 亜生殖板突起は w 形。その上には目立った毛は生じない *Peripsocus didymus*
- 4 前翅は一般に翅脈に沿って褐色の色素が沈着する。従来雌のみが記録されており、雄
 は未知 *Peripsocus pauliani*

PSEUDOCAECILIIDAE ニセケチャタテ科

- 1 前翅の Rs 脈は S 字形に強く湾曲し, R 4+5 脈が Rs, R 2+3 脈に直角に突き当たる。
前翅縁の各室に黒褐色の小さな円紋を 1 つずつ持つ。前翅長約 1.8 mm *Ophiopelma* sp.
- 前翅は上記の特徴を持たない 2
- 2 爪の先端近くに歯を持つ。前翅長約 2.3 mm *Heterocaecilius* sp.
- 爪の先端近くに歯を持たない 3
- 3 前翅に淡褐色の斑紋を持つ 4
- 前翅に淡褐色の斑紋を持たない。前翅長は雄 2.0 mm, 雌 2.5 mm
..... *Pseudocaecilius solocipennis*
- 4 後小室は半円形。前翅長約 3.0 mm *Pseudocaecilius maculosus*
- 後小室は細長い。前翅長約 2.2 mm *Pseudocaecilius criniger*

HEMIPSOCIDAE スカシチャタテ科

- 1 頭胸部及び腹部は黄褐色。腹部の各節に褐色の横帯を持つ。複眼に光を当てると、生時は黄緑色の蛍光色を呈する。翅は透明で、翅脈は暗褐色。縁紋は白く濁り不透明。
前翅長は約 3.0 mm *Hemipsocus chloroticus*

PSOCIDAE チャタテ科

- 1 小顎鬚の端節は幅の 2 倍よりも短い。触角は前翅長の約 2 倍 2
- 小顎鬚の端節は幅の約 2.5 倍。触角は比較的短く、せいぜい前翅長の 1.5 倍まで 9
- 2 前翅の R 2+3 脈と R 4+5 脈は 90°, 或いはそれ以上の角を成して分岐する。前翅の亜前縁脈は前縁脈に合流して終わる 3
- 前翅の R 2+3 脈と R 4+5 脈は約 60° の角を成して分岐する。前翅の亜前縁脈は途中で終わる 4
- 3 後小室の頂は中脈に接する。雌の前翅は褐色で、R 4+5 脈が強く内側に湾曲し、これに沿った部分が透明に色が抜ける。雄の前翅は透明で、R 4+5 脈は湾曲せず、縁紋は褐色。前翅長約 6.0 mm *Sigmatoneura kolbei*
- 後小室の頂は中脈に達せず、短い横脈で結合する。雄の前翅は透明で、縁紋は褐色。雌は未記載。前翅長約 6.0 mm。前種との明確な区別は困難、雌は未知
..... *Sigmatoneura mitsuhashiana* comb. nov.
- 4 前翅は褐色。前翅長約 8.0 mm *Psococerastis nubila*
- 前翅は透明 5
- 5 縁紋の後縁は尖る。前翅長は雄で 4.5~5.0 mm, 雌で 6.0~6.5 mm
..... *Psococerastis tokyoensis*
- 縁紋の後縁は尖らない 6
- 6 前翅の褐色斑は小さく、基部の褐色帯は細い 7
- 前翅の褐色斑は大きく、基部の褐色帯は太い 8
- 7 前翅の斑紋部は狭く色も薄い。前翅長は雄 6.0 mm, 雌 7.0 mm *Psococerastis mali*
- 前翅の斑紋は明瞭。前翅長は雄 4.5~5.0 mm, 雌 6.0~6.5 mm *Psococerastis kurokiana*

- 8 前翅の R 2+3 室に明瞭な褐色の小斑を 3 個持つ。前翅長は雄 3.8~4.0 mm, 雌 5.1~5.3 mm *Psococerastis ryukyensis*
- 前翅の R 2+3 室には褐色の 1 小斑を持つのみ。前翅長は, 雄は 3.6~4.1 mm, 雌 4.5~4.9 mm *Psococerastis yuwan*
- 9 触角は前翅長の約 1.5 倍。前翅は全体褐色。前翅長は雄約 5.0 mm, 雌 5.5~6.0 mm *Metelophorus nebulosus*
- 触角は前翅長より短い, ほど等長 10
- 10 前翅の Cula 脈の基部の長さは, Cula 脈の次の区画の長さよりも一般的に短い。雄の腹部末端は強く硬化したクチクラに覆われる 11
- 前翅の Cula 脈の基部の長さは, Cula 脈の次の区画の長さよりも一般的に長い。雄の腹部末端は硬化したクチクラに覆われない 12
- 11 前翅の Rs 脈と中脈は横脈で結合する。雄の把握板の先端は 3 葉。前翅長は雄約 4.5 mm, 雌約 5.0 mm *Amphigerontia jezoensis*
- 前翅の Rs 脈と中脈の結合は一定しない。前翅の基部側半分に H 形の斑紋を持つが薄く, 消えてしまっていることもある。雄の把握板は 2 葉。前翅長は約 3.5 mm *Blaste obtusa*
- 12 縁紋の後縁から, Rs 脈に向かって短い刺脈が突き出る。前翅, 或いは後翅の径脈叉部分に, 数本の短い縁毛を持つことがある 13
- 縁紋の後縁は刺脈を持たない 16
- 13 前翅は明瞭な褐色の斑紋を持つ 14
- 前翅は明瞭な斑紋を持たないが, 小結節部や, Cul 室には, 薄い小さな灰色斑を持つことがある 15
- 14 R1 室に斑紋を持つ。前翅長は約 3.3 mm *Ptycta micromaculata*
- R1 室に斑紋を持たない。前翅長は雄約 3.3 mm, 雌 3.3~3.6 mm *Ptycta parvidentata*
- 15 前翅の亜前縁脈は明瞭に認められ, 長い。前翅長約 3.5 mm *Copostigma subcostalis*
- 前翅の亜前縁脈は明瞭さを欠き, 短い。前翅長約 3.5 mm *Copostigma hyalinum*
- 16 前翅は複雑な斑紋を持つ 17
- 前翅は縁紋を除いて斑紋を持たない 18
- 17 前翅に微小褐色斑が一面に散在する。前翅長約 2.8 mm *Trichadenotecnum sexpunctellum*
- 前翅に微小褐色斑が一面に散在することはない。前翅長約 4.0 mm *Trichadenotecnum sexpunctatum*
- 18 前翅は透明。縁紋は赤褐色。翅脈は黄褐色。前翅長約 4.0 mm *Psocidus pellucidus*
- 前翅は淡灰色。縁紋は褐色で, 端に斑紋を持つ。翅脈は黄褐色~褐色。前翅長は雄約 3.0 mm, 雌約 2.5 mm *Psocidus takeokanus*
- 記載が不十分のため検索から省いた種 *Psocidus japonicus*

MYOPSOCIDAE ホシチャタテ科

- 1 後翅の径脈と中脈は横脈で結合する 2
- 後翅の径脈と中脈は短い長さ癒合する *Myopsocus* sp.
- 2 前翅の径脈叉から中脈叉にかけての翅縁が, 波状に内側に湾入する 2

-*Lophopterygella camelina*
 — 前翅の翅縁は内側に湾入せず，普通。前翅長約 5.0 mm …*Lichenomima muscosa* comb. nov.

参考文献

- ENDERLEIN, G. 1903. Die Copeognathen des Indo-australischen Faunengebietes. *Annal. Hist. Natur. Mus. Natio. Hung.* 1: 179-344.
 —. 1906. Die Copeognathen-Fauna Japans. *Zool. Jahrb. Abt. Syst. Geogr. Biol. Tier.* 23: 243-256.
 —. 1907. Neue Beiträge zur Kenntnis der Copeognathen Japans. *Entomol. Zeit.* 68: 90-106.
 平嶋義宏 (監) 1989. 17 PSOCOPTERA チャタテムシ目. 日本産昆虫総目録 I: 62-65.
 松本賢吉 1941. 日本産既知嚙虫目録. *昆虫* 15(3): 127-131.
 NEW, T. R. 1977. Psocoptera of the Oriental Region: A Review. *Oriental Insects. Suppl.* 6: 1-83.
 —. 1987. Biology of the Psocoptera. *Oriental Insects* 21: 1-109.
 OKAMOTO, H. 1906. On the Psocidae of Japan. *札幌博物学会会報* 1(2): 197-199.
 —. 1907. Die Psociden Japans. *札幌博物学会会報* 2(1-2): 113-147.
 —. 1910. Die Caecilliden Japans. *Annal. Hist. Natur. Mus. Natio. Hung.* 8: 185-212.
 SMITHERS, C. N. 1967. A catalogue of the Psocoptera of the world. *Austr. Zool.* 14: 1-145.
 —. 1972. The classification and phylogeny of the Psocoptera. *Memoirs of the Australian Museum* 14: 1-349.
 多田茂子 1956. 貯蔵物資害虫としての茶柱虫類に関する研究 第1報. *衛生動物* 7(3-4): 195-202.
 —. 1959. 貯蔵物資害虫としての茶柱虫類に関する研究 第2報. *衛生動物* 10(1): 35-40.
 —. 1962. 貯蔵物資害虫としての茶柱虫類に関する研究 第3報. *衛生動物* 13(2): 99-104.
 THORNTON, I. W. B., S. S. LEE, W. D. CHUI. 1972. Psocoptera. *Insects of Micronesia* 8(4): 45-144.
 —. S. K. WONG. 1968. The Peripsocidae Fauna (Psocoptera) of the Oriental region and the Pacific. *Pacific Insects, Monogr.* 19: 1-158.
 TSUTSUMI, C. 1964a. New species and records of Psocoptera from the Amami Islands, Japan. *Kontyu* 32(1): 117-121.
 —. 1964b. Two new species of Psocoptera from the Amami Islands, Japan. *Kontyu* 32(2): 265-269.
 堤 千里 1962. 家屋内に棲息するチャタテムシに関する研究 (1). *衛生動物* 13(3): 190-195.
 —. 1965. 白水隆博士採集台湾産チャタテムシについて. *日本鱗翅学会特別報告* 1: 246-248.
 —. 1971. チャタテムシ類 (=嚙虫類). pp. 243-257. 「動物系統分類学 7(内田亨編)」, 中山書店, 東京.